



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造
養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和6年7月5日) 第11号



学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」
八鹿青溪中 HP

7月の全校集会 ～但馬総体、但馬吹奏楽コンクールに向けて～

7月1日(月)、全校集会を実施しました。校長講話として以下のような話をしました。

“明日(7月2日)は但馬総体や但馬吹奏楽コンクールの壮行会があります。その場でお話をする時間をとってもらっていますが、もう今日のうちに皆さんへのエールを送りたいと思います。

まずは、とことん勝利をめざしてください。部活動はレクリエーションではありません。あくまでも競技あるいはコンクールであり、勝敗という結果が出ます。「負けてもいいや」ではなく、最後まで勝利を追求しなくてはなりません。

しかしながら、皆さんは中学生です。つまり、部活動は教育の一環として存在しているのです。あいさつ、返事、道具運搬、グラウンド整備、清掃など競技やコンクール以外にも皆さんに課された役割がありますので、八鹿青溪中学校という看板を背負っているということをけっして忘れず、競技やコンクール以外の面でも自らの役割を全うしてくれることを期待します。

さて、私がエールを送りたいのは生徒の皆さんだけではなく、八鹿青溪中学校の各先生方にもエールを送りたいです。私も長年にわたって部活動の顧問をしていましたが、部活動の指導はたいへんな仕事です。八鹿青溪中学校の各先生方は、休めるはずの土曜日や日曜日に部活動の指導のために学校へ来たり、放課後も本来の仕事の脇に置いて部活動に出たりしていただきました。その結果、帰宅が遅くなり、疲れが翌日に残ることも多かったことでしょう。どうか、先生方!臆することなく自らの信じる采配をしていただき、生徒が有終の美を飾るためのアシストをよろしく願います。生徒の皆さんは競技やコンクールで顧問の先生への恩返しをするのです。これが私からのエールです。”



「八鹿青溪帽子」で熱中症を防ぐ～登下校にも着用を～

最近、日中の最高気温が30度を超える日が多くなってきています。そのため、熱中症への備えが極めて重要です。本校では暑さ対策も考え、入学時に「八鹿青溪帽子」を購入していただいています。この帽子は授業や学校行事はもちろん、登下校時に着用することを想定しています。積極的に活用し、熱中症予防に役立ててほしいと思います。



【令和6年度 夏休みの部活動熱中症対策】～八鹿青溪中学校～

- ①開始時刻を昨年度までより30分早めて8時とし、それに伴って終了時刻も30分早めて11時とします。
 - ②こまめな水分補給を指導します。スポーツドリンクの持参を強く奨励します。お茶と併せて多めに持参するようお願いします。また、塩分タブレットや塩の持参も強く奨励します。
 - ③こまめに休憩時間を設定し、その場所を校舎内の冷房の効いた部屋とします。
 - ④氷水を用意しますので、持参したタオルを浸した上で、休憩時にはそれを首に巻くようにします。
 - ⑤市販されているネッククーラー(タオルタイプ、保冷剤タイプ)を登下校時に使用することを認めます。なお、安全面・費用面の観点から手持ち扇風機をはじめ電化製品は不可とします。
- ※早めの就寝や朝食摂取など各ご家庭での熱中症対策もなにとぞよろしくお願いいたします。

夏季休業日が近づいてきました

夏季休業日(7月20日～8月25日)が近づいてきました。多くの生徒は部活動のために登校するとは言え、以前に比べるとその時間は短くなっています。また、3年生はほぼ部活動を引退しますし、1・2年生の中にも部活動に所属していない生徒もいます。よって、夏季休業日は特にご家庭の指導力が問われる重要な期間と言えますので、以下の事柄を参考にいただき、それぞれでしっかりとご指導くださいますようお願いいたします。



- 1 夏休みを有意義に過ごすために、明確な目標を持たせる
 - 子どもたちが自らの生活を見つめ、有意義な夏休みとするために、目標を持たせ、具体的な計画を立てて過ごすように指導しましょう。
- 2 規則正しい生活のリズムのもとに一日を計画的に過ごさせる
 - テレビ、ゲーム、インターネット、スマホ・携帯電話等の使用について、家庭内で「約束ごと」を決め、自己をコントロールする力をつけさせましょう。
 - 基礎学力の定着、自由研究、読書等に計画的に取り組ませましょう。
- 3 家庭や地域の人々との人間的なふれあいを深めさせる
 - あいさつや手伝い等をすすめ、心豊かな生活ができるよう指導しましょう。
 - 地域での伝統行事等に積極的に参加して、地域の人々とのふれあいを深めるとともに、人々の温かさや優しさにふれさせましょう。
 - さまざまな体験活動を通して、感動の心を育てるよう指導しましょう。
- 4 安全指導を徹底するとともに問題行動の防止につとめる
 - 交通ルールの遵守、触法行為の禁止、事故の未然防止並びに健全育成の推進につとめる。自転車乗車時のヘルメット着用を指導しましょう。危険箇所を周知し、交通事故、水の事故を防止しましょう。
 - インターネットを使用する際の情報モラルや有害サイトの危険性について指導を徹底しましょう。
 - 外出するときは「どこへ」「だれと」「何をしに」「いつ帰る」を伝えさせましょう。

親子ではぐくむ『5つの生活習慣』

1 早寝・早起きの習慣 2 規則正しい食事の習慣 3 あいさつの習慣 4 片付けの習慣 5 読書の習慣

【お知らせ】8月13日(火)～16日(金)は、教職員一斉の休暇取得を奨励しています。緊急の連絡がある場合は、養父市教育委員会子ども学び課までお願いします。(午前8:30～午後5:15)

7月の草庵先生の教え

7月

反観内省

はんかんないせい

自分のことをよく考えて深くかえりみること。

